

## 学生生活にあたって

### ■各種発行、変更等

担当部署

・教務課

Taki Plaza 1階

教務課(すずかけ台)

J 1棟 1階

【証明書】

東工大HP

→在学生の方

→証明書・届出

→自動発行証明書



### ●証明書の発行

主な証明書(以下の証明書)は、学生証とPINコード(6桁の数字)入力により、証明書自動発行機で発行することができます。

- ・在学証明書(和文及び英文)
- ・学業成績証明書(和文及び英文)
- ・卒業見込証明書・修了見込証明書
- ・学士課程卒業証明書・学士課程成績証明書(本学の学士課程卒業生で引き続き大学院課程に進学した者のみ発行可能。証明書発行画面に出ない場合は、教務課で手続きをして下さい。)
- ・健康診断証明書(本学で健康診断を受診した場合のみ発行可能)
- ・学校学生生徒旅客運賃割引証(通称「学割」。年間発行枚数制限あり。制限を超えた場合は、教務課までお越し下さい。有効期間は発行日から3ヶ月以内で且つ学生証の有効期限内です。)
- ・通学定期券購入証明書(発行枚数制限あり。1年間使用しますので定期券購入後も証明書を捨てないで下さい。)

これ以外の証明書については、教務課学務グループ及びすずかけ台教務グループの窓口にお越し下さい。(証明書によっては交付に一週間程度かかることがあります。)

### ○証明書自動発行機の設置場所と稼働時間

大岡山 Taki Plaza 地下1階

東工大蔵前会館(TTF) 2階アートメディアルーム

平日(土・日・祝日を除く) 9:00~21:00

すずかけ台 J1棟 1階ロビー

平日(土・日・祝日を除く) 8:30~17:30

※例年、年末年始、夏季一斉休業、春・秋の学位記授与式後(3月下旬~4月初旬、9月下旬~10月初旬)は、データ更新等により、証明書自動発行機を停止します。特に、就職関係(主に春)で証明書が必要になる場合は注意し、事前に入手して下さい。

### ●学生証再発行手続き

教務担当窓口で手続きをして下さい。手続き後1~2週間以内に再発行します。以前の学生証写真と同様でよければ、写真は不要です。(※有効期限切れの場合は必要。)

#### ・学生証を破損又は紛失した場合

再発行には2,500円の手数料がかかります。なお、再発行手続き中の身分証明のために、仮学生証を発行することが可能です(翌営業日発行)。仮学生証が必要な方は写真(縦30mm×横25mm)を持参下さい。※券面が擦り切れるような使い方をした場合は「破損」とみなしますので、学生証は大切に扱って下さい。

・ **ICチップが使用できなくなった（反応しなくなった）場合**  
再発行を行います。紛失と同様に窓口で手続きを行って下さい。

・ **有効期限が切れた場合**

写真を持参のうえ、窓口で手続きを行って下さい。

※学生証の期限（当初4年間）が切れると、教務 Web システム等の使用ができなくなります。4年を超えて在学する場合は、必ず手続きをして下さい。（4年目の1～3月初旬に手続きを行うこと。）

・ **姓名変更を行った場合**

学生証の券面表記を変更するため、再発行します。手続き時に、新しい姓名を証明する身分証明書を持参して下さい。

※IC チップ不良、学生証の期限切れ、姓名変更の場合は手数料はかかりません。

### ●パスワード、PINコード

パスワードは東工大ポータルにログインする際に使用するものです。PIN コードは証明書発行やカード認証でポータルにログインする際に使用する6桁の数字です。これらは入学時に配付される学生証と一緒に通知書で配付されます。

・ **パスワードを変更したい**

東工大ポータルのページからパスワードの変更が可能です。

・ **パスワードを忘れてしまった**

教務担当窓口のヘルプデスクまでお越し下さい。（P2 1 参照）

・ **PINコードを変更したい**

教務担当窓口、附属図書館に備え付けのPINコード変更用パソコンでPINコードを変更することが可能です。

・ **PINコードを忘れてしまった**

教務担当窓口のヘルプデスクまでお越し下さい。

### ●住所等変更

住所・電話番号・通学方法が変わった場合は、教務 Web システム内の【学生基本情報】にて新しい住所等の登録を行って下さい。住所変更に伴い通学経路が変わる場合は下記の手続きをして下さい。

### ●保証人情報変更

入学時に届出た保証人に関する事項が変わった場合は、保証人変更届（東工大 HP からダウンロードできます。）を教務担当窓口へ提出して下さい。（教務 Web システム内では変更できません。）

### ●通学経路の変更と通学定期券購入証明書の訂正

通学経路を変更して通学定期の区間が変わる場合、教務 Web システムにて住所変更を行ったうえで、証明書自動発行機で通学定期券購入証明書を発行し直して下さい。また、旧住所の通学定期券購入証明書は必ず破棄して下さい。